

福の鳥プロジェクト研究会 発足

横山さんの話を聞く参加者



スズメをモチーフにしたキャラクター

異業種がそれぞれの特徴を生かし、世界に通用する「福鳥ブランド」の確立を目指す「福の鳥プロジェクト研究会」が15日、発足。

福島ブランド確立を 異業種が特色生かし連携

独自のキャラクター作成

同日、福島市のコラッセふくしまで初会合を開いた。福島市の活性化や流通の活性化などへの思いを具現化しようと、同市の第一印刷がさまざまな業種に呼び掛け、研究会を発足させた。スズメをモチーフにした研究会のオリジナルキャラクターも作成し、今後活用法を考えていく。

詳細な事業計画は今後決めるが、例えば研究会のWEBページを作成することなどを検討している。

初会合には小売り、製造業など17社から代表らが参加。サンリオで商品企画やテーマパーク開園・運営などに携わり、現在は施設・環境開発などを手掛けるネットワークスの横山哲社長が講義した。